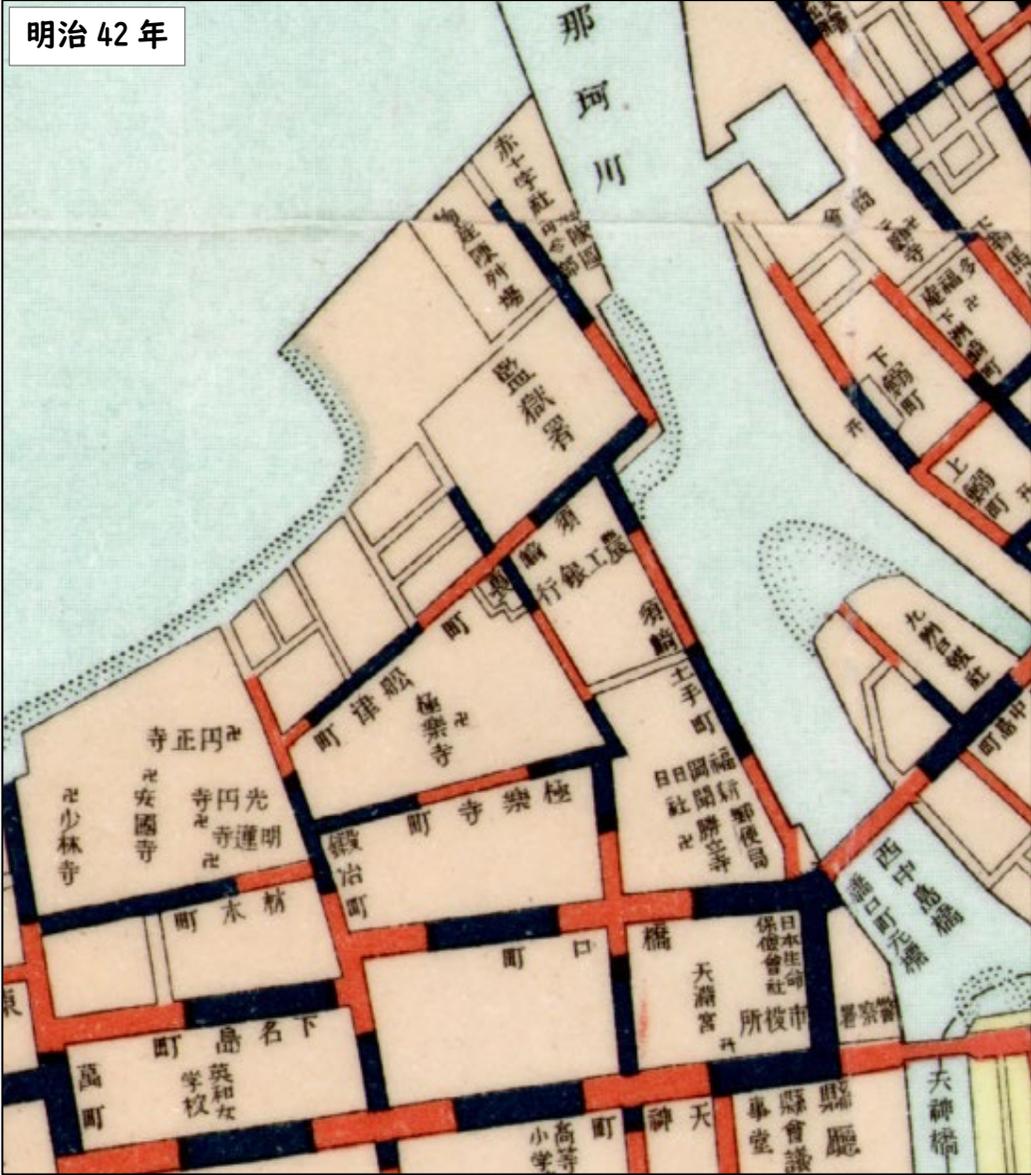


1 天神・那の津エリア



赤十字社左側、地図の接合部は「物産陳列場」

明治 42 年の地図の須崎公園付近には、「赤十字社」や「物産陳列場」などの記載があります。

^{すさきばし}
須崎橋（旧洲崎橋）は地図発行の2年後の明治 44 年に市内電車のために架橋されました。

現在の橋は平成9年に架け替えられました。

橋を博多方面に渡り、すぐ右（地図上の★）に旧洲崎橋の親柱が保存されています。



須崎橋

須崎橋の南側にある^{べんてんばし}
弁天橋は昭和 47 年3月に竣工されました。



弁天橋

弁天橋の南側にある^{にしなかしまばし}
西中島橋は、17 世紀初めに架橋されたと言われており、
明治 42 年の地図にも記載があります。

福岡藩初代藩主の黒田長政が福岡城を築城する際に、城下と博多を結ぶため、橋を架けました。

なお、現在の橋は平成 15 年に架け替えられたものです。



西中島橋

^{あかれんが}
赤煉瓦文化館は、日本生命保険九州支店の社屋として明治 42 年に建てられ、
昭和 44 年に重要文化財に指定されました。

英国式の外壁とアールヌーボー様式を取り入れた内装が特徴で、
内部を見学することもできます。



赤煉瓦文化館

西中島橋の南側にある^{てんじんばし}
天神橋は、架橋された正確な時期は不明ですが、
明治 42 年の地図に記載があります。

現在の橋は昭和 56 年に架け替えられたもので、橋の下には薬院新川が流れています。



天神橋

